

## 平成27年度 行政評価事業別シート

<b>実計対象</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>評価対象</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>新規</b>	<input type="checkbox"/>	<b>完了事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>ゼロ予算事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>担当者</b>	千葉智子
<b>全体計画</b>	平成27年度 ~ 平成29年度			<b>経費区分</b>	実施計画事業費			<b>内線</b>	3613		
<b>事務事業名</b>	4256 不登校児童生徒支援事業										
<b>所 属</b>	300100 教育委員会事務局・学校教育課										
<b>施 策</b>	02010700 特色ある魅力的な学校づくりの推進										
<b>予算科目</b>	<b>会計</b>	01 一般会計									
	<b>科目</b>	100103 教育費・教育総務費・教育奨励費									
	<b>事業</b>	030000 不登校児童生徒支援事業									
<b>事業目的</b>						<b>事業概要・効果</b>					
不登校や学級不適應などの児童生徒に対応するため、不登校児童生徒支援員を配置し、問題解決に努める。						不登校や学校を休みがちな児童生徒、学級に入れない児童生徒に対し、相談を受けたり、学習室や相談室などにおける支援を行い、不登校や学級不適應の原因の究明、児童生徒の安心できる居場所づくりを行う等、学校内、家庭と連携しながら、学校への登校、学級への復帰を図る。					

**PLAN-DO**

**年度実績及び予定**

平成22年度 実績	平成23年度 実績
平成24年度 実績	平成25年度 実績
不登校や学校を休みがちな生徒、学級不適應の生徒に対し、相談相手になったり教職員や家庭と連携を図り支援会議を行うなど登校にむけた環境づくりに努めた。	不登校児童生徒支援員やスクールカウンセラー、心の教室相談員を配置し、児童生徒の悩みについて共感し、助言や指導をすることにより、多くの児童・生徒の心の安定が得られた。
平成26年度 実績	平成27年度 予定
不登校児童生徒支援員やスクールカウンセラー、心の教室相談員を配置し、児童生徒の悩みについて共感し、助言や指導をすることにより、多くの児童・生徒の心の安定が得られた。	不登校や学校を休みがちな児童生徒、学級に入れない児童生徒に対し、学習室や相談室などにおける支援を行い、不登校や学級不適應の原因の究明、児童生徒の安心できる居場所づくりを行なう。

指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成26年度 決 算	平成27年度 予 算
事業費		6,755	4,043
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		6,755	4,043
人員数(人)	正規職員	0.2	0.2
	嘱託職員	0.6	0.6
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	1,371.6	1,371.6
	嘱託職員	1,635.0	1,635.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	3,006.6	3,006.6
市民一人当たりの経費		0.2	0.1
総額		9,761.6	7,049.6

(単位：千円)

平成26年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	3,057	スクールカウンセラー3,011,266円 子育て支援セミナー講師 45,548円
11節 需用費	304	中間教室303,727円
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	3,394	Q-U検査手数料・知能検査手数料 3,197,765円 ほか

(単位：千円)

平成27年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	127	メンタルフレンド 60,000円 子育て支援セミナー講師 66,822円
11節 需用費	70	中間教室 70,000円
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	3,846	Q-U検査手数料 2,813,000円 知能検査手数料 778,000円 ほか

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	必要不可欠
評価コメント	不登校児童生徒支援員を各中学校に配置し相談事業を行うことで、児童生徒の健やかな成長や心の安定を図る。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	大変有効
評価コメント	不登校や学級不適應の原因究明、児童生徒の安心できる居場所づくりを行う等、学校内、家庭と連携しながら、学校への登校、学級への復帰を図る。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	向上
評価コメント	不登校支援員等の情報交換会の実施。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

H26年度の不登校数は、小学校14人、中学校51人  
H25年度との比較では、小学校1人増、中学校2人増

**ACTION**

**1次評価**

**2次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>不登校児童生徒支援員やスクールカウンセラー、心の教室相談員を配置しきめ細かな対応をしているが、なかなか数字に現れてこない。継続的な対応が必要。</p>		<p>各中学校を拠点校として配置している不登校支援員、スクールカウンセラーの相談事業や図書館司書を兼ねた心の教室相談員等の個別相談を通じ、きめ細やかな支援を継続していくことが必要である。</p>	

**外部評価**

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	